

イピリムマブ + ニボルマブ + カルボプラチン + パクリタキセル療法

+ 大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを6週間毎繰り返します。

薬剤名	外観	液色	薬効	1クール					
				第1日目	2~21日	22日	23~42日		
				投与方法	点滴	点滴	点滴		
① 生食注		無色	治療前の流しです。	↓	15分・点滴	お休み	お休み		
② オプジーボ注 [®] (ニボルマブ)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓	30分・点滴				
③ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓	30分・点滴				
④ ヤーポイ注 [®] (イピリムマブ)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓	30分・点滴			お休み	
⑤ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓	15分・点滴				
⑥ デカドロン注 ファモチジン注 ポララミン注		無色	むかつき、吐き気及びお薬の過敏症を抑えます。	↓	15分・点滴			↓	お休み
⑦ グラニセトロンバッグ アロカリス注		無色	むかつき、吐き気を抑えます。	↓	30分・点滴			↓	
⑧ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓	全開・点滴			↓	
⑨ パクリセキセル注 [®] (パクリタキセル)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓	3時間・点滴			↓	
⑩ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓	全開・点滴			↓	
⑪ カルボプラチン注 [®] (カルボプラチン)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓	1時間・点滴			↓	
⑫ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓	全開・点滴			↓	

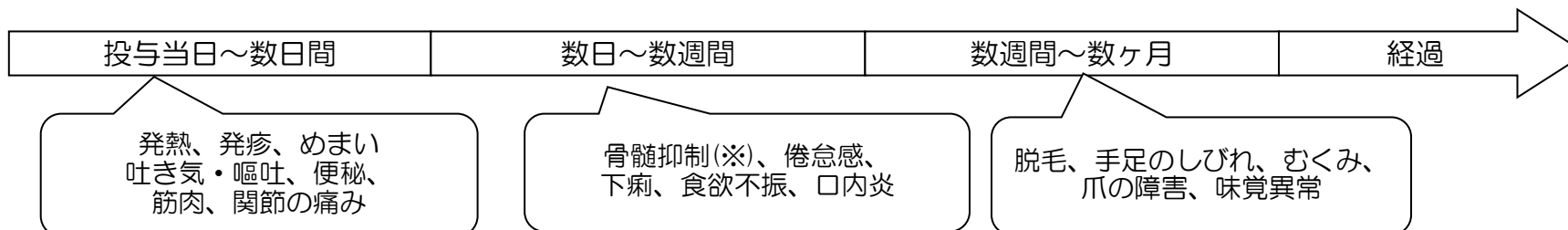
※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。
 お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。
 このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
 また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。
 抗アレルギー薬や、お薬の中にアルコールを含むものがありますので、眠気やふらつき、転倒にご注意ください。
 また、アルコールに弱い方、アレルギーのある方はお申し出下さい。点滴日のお車の運転はお控えください。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

【注意が必要な副作用】

次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

- 骨髄抑制 : ★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
- 過敏症 : ★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
- 消化器症状 : ★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
- 心障害 : ★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頸部の締付け、圧迫感、冷汗
- 腎障害 : ★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
- 肝障害 : ★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
- 脳障害 : ★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
- 皮膚障害 : ★中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜疹
- 肺障害 : ★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
- 血栓 : ★意識を失いそうになる、身体の麻痺、ろれつがまわらなくなる、激しいめまい、胸が痛んだり締め付けられるような感じ、足がむくんだり痛みが出る、突然の息切れ
- 聴力障害 : ★耳が聞こえにくい、耳鳴り、高音が聞こえにくい
- 出血 : ★口から血を吐く、血便、鼻血や歯肉、膣からの出血
- 末梢神経障害 : ★感覚や運動の麻痺、手足のしびれ、手足の痛み

連絡先 大津赤十字病院

TEL 077-522-4131

平日8:30 ~ 17:00 受診されている診療科
平日17:00 ~ 翌8:30 及び休日 救急外来

【免疫チェックポイント阻害薬投与中に気をつける症状】

がん免疫療法の一つである免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び働きかけることによってがん細胞への攻撃力を高めます。この免疫の作用が過剰に働きすぎることによって副作用が起こる可能性があります。

これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。

あらかじめ副作用の種類や症状を知ることによって、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を継続するためにも、以下に記載している症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

- 息切れ、息が苦しい
 - 空咳（痰がない咳）
 - 発熱
- ・・・風邪によく似た症状です。
間質性肺疾患の可能性があります。

- いつもより排便回数が多い
 - 血便
 - 黒い便が出る
 - 腹痛を伴う下痢
 - 吐き気・嘔吐
- ・・・大腸炎の可能性があります

- 皮膚がかゆい
 - 発疹が出る
 - ひどい口内炎
 - 水ぶくれが出る
- ・・・皮膚障害の可能性があります。

- 皮膚や白目が黄色くなる
 - 体のだるさ
 - 吐き気
- ・・・肝障害の可能性があります。

- いつもより疲れやすい
 - からだがだるい（倦怠感）
 - 体重の増減がある
 - 気力の低下
- ・・・甲状腺・下垂体・副腎など内分泌異常の確認が必要です。



この他にも気になる症状があれば、医師または薬剤師に申し出てください。

- 手足に力が入らない
 - ものが二重に見える
 - ろれつが回らない
 - 呼吸が苦しい
 - 食べ物がうまく飲み込めない
- ・・・重症筋無力症、筋炎の可能性があります。

- 水をいつもより多く飲む
(水分をとってもすぐにのどが渇く)
 - のどが渇く
 - 尿が増える
- ・・・1型糖尿病の可能性があります。

連絡先 大津赤十字病院

Tel 077-522-4131

平日8:30 ~ 17:00 受診されている診療科
平日17:00 ~ 翌8:30 及び休日 救急外来

- 手足に力が入らない
 - しびれ
 - 疲れやすさ
 - 痛み・感覚が鈍くなる
 - ものがつかみにくい
- ・・・神経障害の可能性があります。